

(公財)京都市環境保全活動推進協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
--------------------------	--------------------------------

基本事項

所管局課	環境政策局地球温暖化対策室	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	52,363 千円	本市出えん率	95.5 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
------------	-----	-------------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務を次期契約以降も継続的に獲得していく。
財務面	指定管理業務に依存した体質の脱却を図るため、新規事業を獲得していく。
組織面	組織運営能力を備えた職員を育成する。
その他	特になし

『「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」』欄及び『「今後の方向性」に向けた基本的方針』欄については、平成27年度中に決定した内容を記載している。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	京都市環境保全活動推進協会の運営に当たっては、公益財団法人として、より一層の効率的かつ安定的な運営に努めるとともに、着実に事業を実施していただきたい。
------------	---

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	「指定管理業務及び受託事業の確実な遂行」を実施することができた。「新規事業の収益増による経常収益における指定管理費収入割合の低減」「組織管理体制の強化」は依然課題が山積されているため、新たな中長期事業計画をもとに、引き続き改善が必要である。
所管局(※)	「組織管理体制の強化」のため、経理を含む事務処理全般の適正化及び効率化について、早急に改善を行い、正確かつ安定した法人運営体制を築いていただきたい。
外郭団体総合調整会議(※)	事業整理の結果、財務内容が改善されている点は評価できる。今後は魅力的な自主事業を展開していくとともに、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」である「自律化」に向けて、法人運営体制の強化に取り組んでいただきたい。

(1)業務に関する取組

目標「指定管理業務及び受託事業の確実な遂行」	
中期経営計画における取組	—
当年度目標	<p>現在受託中の京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務（第3期，契約期間：平成25年～28年）及びエコ学区事業を確実に遂行する。加えて，京都市からの他の受託事業，国や民間団体等からの公募事業やJICA研修事業の受託等，新規事業の獲得に向け，あらゆる可能性を検討する。また，今後5年～10年を見通した総合戦略の策定と併せて，平成28年度からの第3期中長期計画を策定する。</p>
当年度結果（※）	<p>京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）の年間来館者数が過去最高を記録するなど，指定管理業務及びエコ学区事業を確実に遂行することができた。</p> <p>上記の他に，京都市から「市民協働発電制度地域コミュニティ版支援コーディネーター派遣」業務，JICA草の根プロジェクト「イスカンダル・マレーシア地域における低炭素社会づくりに向けた人づくり・地域づくり」事業の受託等，新規事業を獲得することができた。</p> <p>また「公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 2016年度～2025年度中長期事業計画」を策定することができた。</p>

指標	京エコロジーセンター入館者数 (単位：人)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—	—	—	—	—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	93,000	—	91,847	93,000	—	100,701

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度			平成27年度			備考欄
	予算	見込	実績(※)	予算	見込	実績(※)	
経常収益	174,698	—	181,974	182,970	—	187,611	
経常費用	180,288	—	170,744	181,800	—	177,530	
当期経常増減額	△ 5,590	—	11,230	1,170	—	10,081	
当期正味財産増減額	△ 5,590	—	11,166	1,170	—	10,041	
資産合計	—	—	147,501	—	—	161,547	
負債合計	—	—	22,366	—	—	26,372	
正味財産	97,605	—	125,135	105,062	—	135,175	
うち累積損益額	—	—	72,772	—	—	82,812	

目標「新規事業の収益増による経常収益における指定管理費収入割合の低減」	
中期経営計画における取組	—
当年度目標	<p>協会収益の大半を京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務に依存しているため、指定管理業務以外の事業及び新規事業の獲得により収益の多様化を図る。</p> <p>費用については、業務の見直しによる超過勤務の削減等により人件費を適正に執行し、とりわけ、事業費は徹底した予算管理により損益悪化を防止する。</p>
当年度結果(※)	<p>京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務以外の既存事業の拡大や、新規事業獲得により、経常収益が前年度と比較して増額した。引き続き、経常収益を増額させるよう努めていく。しかしながら、実施事業の拡大及び職員数の減少により、職員一人当たりの業務量が増加しており、超過勤務の削減には至っていない。</p>

指標	経常収益						(単位:千円)	
	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—			—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	174,698	—	181,974	182,970	—	187,611		

(3)組織に関する取組

目標「組織管理体制の強化」															
中期経営計画 における取組	—														
当年度目標	<p>今後の組織の継続・発展を図るためには、公益法人としての要件を熟知し、組織運営能力を備えた人材の育成が急務である。そのため、公益法人事務の要である経理担当の新規育成を行う。</p> <p>事業部においては、補職者の所管分野を明確にし、担当業務への指導性を高めるとともに、事業の選択と集中を行うことで効果的な事業推進の仕組みを構築する。</p>														
当年度結果 (※)	<p>経理担当の新規育成を行ってきたが、組織運営能力が十分備わったとは言えないため、引き続き人材育成を行っていく。事業部においては、補職者の所管分野を明確にし、担当業務への指導性を高めることができた。事業の選択と集中、人材育成については、依然課題が残っており、平成28年度以降の積み残しとなった。</p>														
指標	京都市からの派遣職員数 (単位：人)														
中期経営計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成26年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度	—	—	—	—	—	—		
平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度										
—	—	—	—	—	—										
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>見込</th> <th>実績(※)</th> <th>目標</th> <th>見込</th> <th>実績(※)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)		1	—	1	0	—	0	—
目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)										
1	—	1	0	—	0	—									